

# SPOGOMI World Cup 2023

## 秋田 STAGE

### Rule Book



## CHANGE FOR THE BLUE とは

国民一人ひとりが海洋ごみの問題を自分ごと化し、「これ以上、海にごみを出さない」という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として2018年11月から推進しているプロジェクトです。  
産官学民からなるステークホルダーと連携して海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信していきます。



ルール動画はこちら→



# TITLE 競技ルール

1

## <基本事項>

- 指定された時間及びエリアで拾ったごみの種類・重さに応じて与えられる得点を競います。最も高得点を獲得したチームが勝利となります。
- ごみ拾いは1時間、分別は20分となります。時間をオーバーした場合には減点対象となり、3人で1チームとします。
- 競技エリア内には、安全とルール順守状況を確認するために、複数人の審判員を配置しています。ルール違反時には注意が入ることがあります。複数回注意されても是正されない場合には減点・失格の対象となります。
- ここで定めるルールとは別に交通ルールなどを順守して安全に実施してください。
- 特に道幅が狭い車道などは十分に注意してください。なお、競技中にケガや事故などが発生した場合は、速やかに周囲の審判員やスタッフに知らせ、指示を仰いでください

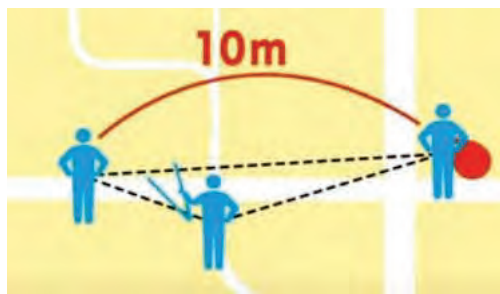
## ■ごみの種類とポイント

 <p>燃えるごみ [赤 30%ごみ袋]</p> <p>紙類／布類／雑誌類／弁当・食品容器包装ごみ／コンビニ袋など</p> <p>※草／落ち葉／枝／家屋廃材などは含まず。</p> <p>100 g → <b>10 point</b> ※100g以下は四捨五入</p>	 <p>燃えないごみ [青 30%ごみ袋]</p> <p>ビニール傘／ガラス類／鍋／フライパン／瀬戸物類／電池／ライター／鏡／金属類など</p> <p>※小型電化製品（ドライヤー／シェーバーなど）程度の大きさは可。それ以外は粗大ごみ扱い。ブロックやレンガは含まず。</p> <p>100 g → <b>10 point</b> ※100g以下は四捨五入</p>
 <p>ビン／缶 [赤 30%ごみ袋]</p> <p>中身を捨てたもの</p> <p>100 g → <b>12 point</b> ※100g以下は四捨五入</p>	 <p>ペットボトル [青 30%ごみ袋]</p> <p>中身を捨てたもの</p> <p>100 g → <b>25 point</b> ※100g以下は四捨五入</p>
 <p>たばこの吸殻 [半透明 レジ袋]</p> <p>100 g → <b>300 point</b> ※100g以下は四捨五入</p>	 <p>粗大ごみ</p> <p>粗大ごみは処理が困難なため、拾わないものとする。配布するごみ袋（700mm×500mm＝30%）に入らない大きなごみ 例：扇風機／布団／座布団／消火器／コンクリートブロック／金庫／金属棒／タイヤ／コンロ／パソコン／ベビーカー／炊飯器／ など</p> <p>マイナス <b>100 point</b></p>

## = 競技面でのルール =

### 1 : 先頭と最後のメンバーの間隔が 10m以上離れないこと

※最後尾のメンバーがゴールラインを通過し、ゴール地点に立っている審判員に報告した時点がゴールとなります



### 2 : 拾ってはいけないもの

(例)

- ・既にごみ箱に入っているごみ
- ・ごみの収集場所に置いてあるごみ
- ・誰かが所有していると思われるごみ  
※周囲の状況（整理して置いてある、最近も使った形跡がある等）から判断
- ・粗大ごみ

#### <定義>

配布するごみ袋  
(700mm×500mm = 30%) に入らない  
大きなごみ

- 例 : バッテリー / 扇風機 / 布団 / 座布団  
消火器 / コンクリート / ブロック  
金庫 / 金属棒 / タイヤ / 車輪  
コンロ / パソコン / ベビーカー  
炊飯器

- ・危険なごみ（注射器、ガスボンベなど）
- ・道路の側溝やドブ板を持ち上げて拾ったごみ



### 3 : 走らないこと（早歩きは可能）

#### <定義>

歩く : 常にどちらかの足が地面についた移動

走る : 両足が同時に地面から離れる  
浮く、ジャンプする瞬間がある移動



### 4 : 競技エリアを守ること



### 5 : 立ち入り禁止エリアに入らない

- ・川や河川敷
- ・私有地



※駐車場について

コインパーキングは私有地ではあるが、誰でも使用できるという公共性が高いことから立ち入り可とする（企業・団体等専用の駐車場は不可とする）

・ 分別ルールを守ること

### 6 : 交通ルールを守ること



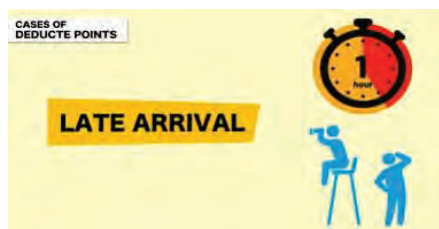


**= 減点及び失格について =**

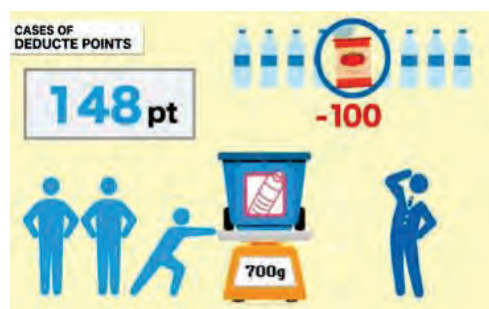
ルール違反時には審判から注意を受けることがあります。審判員から注意を受けて、繰り返し（2回以上）注意をしても従わない場合には減点、**悪質な場合には審判の判断で失格**にすることがあります。

**▼減点となるケース**

- ・「競技面でのルール」に違反した場合
- ・時間内にごみ拾いを終えて戻ってこない場合  
 -1分ごとにマイナス10点、10分以上遅刻の場合は失格  
 (例)1~59秒は-10点、60~119秒は-20点



- ・計量時ごみの分別が正しくなされていない場合はマイナス100点  
 -ごみを分別した後に再度計量を実施する

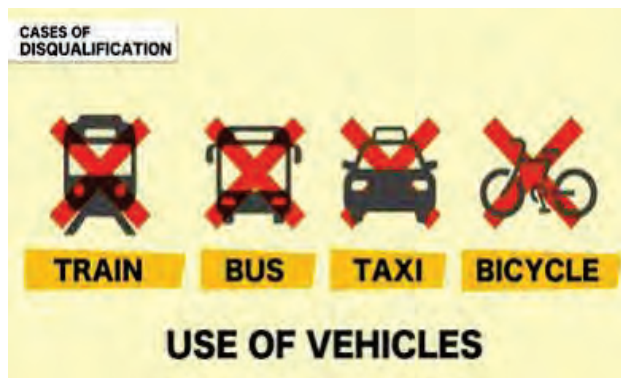


- ・「拾ってはいけないもの」（詳細は先述）を拾ってきた場合マイナス100点



## ▼失格となるケース

- ・電車／バス／タクシー／自転車など、徒歩以外の手段で移動した場合



- ・落ちているごみを拾う以外の方法でごみの重量を増やした場合  
 (例) 水で重さをかさ増しする／ごみ箱のごみを加える／店舗からごみをもらう etc



- ・スポーツマンシップにのっとっていない行為  
 (例) 暴力的行為に及ぶ、他チームや審判に悪態をつく等  
 -審判及びスタッフ等の注意を聞かず、悪質な行為を続けた場合  
 -定められたごみ拾い終了時間から、10分以上遅刻して会場に戻ってきた場合

その他、ここに記載のない場合にも、危険・悪質、その他理由でスポーツごみ拾いの趣旨と相応しくないと判断される行為については、減点・失格の対象といたします。※審判員やスタッフが判断